

巻頭言

本誌は2012年に創刊された「恵寿総合病院医学雑誌」の第7巻に当たります。本巻には原著7編、症例報告2編が掲載されています。特に本巻はコ・メディカル職員からの投稿が多く、かつ巻を重ねるごとに論文のレベルが高度になっていることが特筆されます。

恵寿総合病院・恵寿金沢病院の医師・職員が、多忙な日常業務をこなしながら論文や症例報告を執筆し本誌に投稿するのは容易ではないと思われます。投稿者各位の、真摯な探求心に敬意を表します。一方、論文執筆が初めてという執筆者もいて、査読を担当された皆さまのご苦勞は大きかったことと思います。何度も原稿の書き直しを査読者から要求されてうんざりした執筆者も多かったかと思いますが、次の論文はきっともっと効率よく、上手に書けます。モチベーションを高く保って下さい。

これまでの6巻と同様に、この巻が日の目を見るまでには、川村研二編集委員長の涙ぐましい努力があったことを付記し、川村編集長と、編集補佐を担当された医療秘書課 長浦智里さんに御礼を申し上げます。さらに査読者各位には、「褒めて育てる」教育的指導を実践されたことに対して御礼を申し上げます。

最後に、「恵寿総合病院医学雑誌」の略称について、覚えのために記します。同第3巻までは略称の記載がなく、第4巻は論文の1頁目左下に「恵寿医誌」、第5巻以降は同じ位置に「恵寿病医誌」と記載されています。編集部で検討の結果、現時点での医学中央雑誌の略名表記に従い、(第1～3巻を含めて)本誌の略号を「恵寿病医誌」に統一することになりました。今後本誌のバックナンバーを引用文献に使われる際にご留意下さい。

第7巻の発刊をお祝いするとともに、本誌が恵寿総合病院・恵寿金沢病院の成長の記録として高く評価される医学雑誌に成長することを期待します。

2019年3月吉日

社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院
病院長 山本 健